

【消防上下水道関係】

中間報告する事務・事業の内訳

局 名	件 数
消 防 局	1 件
水 道 局	1 件
合 計	2 件

1 消防局

項 目	内 容																								
1 普通救命講習 【救急課】	<p>1 見直しの方向</p> <p>心肺蘇生法の習得を中心とした普通救命講習を、次のように見直してはどうか。</p> <p>(1) 講習で得た知識・技術が維持できるよう、自己学習教材の充実などを図る。</p> <p>(2) 若年層の受講を促進する。</p> <p>2 事務・事業の概要</p> <p>本市では、平成7年度から管内に居住又は通勤・通学する者を対象に、「普通救命講習」を実施している。</p> <p style="text-align: right;">【普通救命講習の受講者数】 (単位：人)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">区 分</th> <th style="text-align: center;">平成20年度</th> <th style="text-align: center;">平成21年度</th> <th style="text-align: center;">平成22年度</th> <th style="text-align: center;">平成23年度</th> <th style="text-align: center;">平成24年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">受講者数</td> <td style="text-align: center;">11,873</td> <td style="text-align: center;">12,402</td> <td style="text-align: center;">12,148</td> <td style="text-align: center;">11,898</td> <td style="text-align: center;">11,844</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 見直しの理由</p> <p>(1) 本市では、毎年度、1万人を超える市民等が普通救命講習を受講しており、受講者数は、着実に増加しているが、心肺停止者に対する応急手当の実施率は40%台前半に留まっている。</p> <p style="text-align: right;">【応急手当の実施率】 (単位：%)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">区 分</th> <th style="text-align: center;">平成20年</th> <th style="text-align: center;">平成21年</th> <th style="text-align: center;">平成22年</th> <th style="text-align: center;">平成23年</th> <th style="text-align: center;">平成24年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">実施率</td> <td style="text-align: center;">42.0</td> <td style="text-align: center;">45.9</td> <td style="text-align: center;">43.9</td> <td style="text-align: center;">42.4</td> <td style="text-align: center;">42.4</td> </tr> </tbody> </table> <p>現在、講習後の自己学習につながるよう受講者全員に市販のテキストを配付しているが、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市販のテキストは、文字が多く、一目で要点をつかみ難いなどのため、自己学習に活用されていない。 ・ テキスト以外の自己学習教材としては、広島市ホームページ上のeラーニングがあるが、十分に利用されていない。 <p>ということから、講習で得た応急手当の知識・技術が十分に維持されず、そのことが、実施率が向上しない要因と考えている。</p> <p>そのため、次のような見直しを検討する必要がある。</p> <p>① 市販のテキスト配布に替えて、本市独自の応急手当の手引を作成配布する。</p> <p style="text-align: center;">【手引の特徴】</p> <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ イラストを中心に応急手当の手順等を分かり易く説明 ・ 夜間急病センターの案内等の救急医療情報や、速やかに救急要請すべき症状など、日常生活においても有用な情報を掲載 ・ 家庭等での保管や実践での活用に適した形状(デザイン)を採用 </div> <p>② 講習内容のポイントを映像や音声で説明したDVD(45分)の貸出しを行うとともに、eラーニングの一層の利用を促進する。</p>	区 分	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	受講者数	11,873	12,402	12,148	11,898	11,844	区 分	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	実施率	42.0	45.9	43.9	42.4	42.4
区 分	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度																				
受講者数	11,873	12,402	12,148	11,898	11,844																				
区 分	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年																				
実施率	42.0	45.9	43.9	42.4	42.4																				

項 目	内 容
	<p>(2) また、受講者は成人層が主となっており、若年層に応急手当が普及していないことから、中高生専用の講習を開設するなど、若年層が受講しやすい環境整備を検討する必要がある。</p> <p>4 平成25年度当初予算額 255万5千円</p> <p>5 見直し効果額 年額 △53万6千円 { 平成26・27年度見込額の平均から平成25年度当初予算額を差し引いた額 } </p>

2 水道局

項 目	内 容
1 水道局佐伯庁舎の宿日直業務 【営業課】	1 見直しの方向 水道局佐伯庁舎における夜間及び閉庁日の庁舎警備については、業務委託による宿日直業務として実施しているが、水道局の他の小規模単独庁舎と同様に機械警備に変更してはどうか。 2 事務・事業の概要 佐伯庁舎では、夜間及び閉庁日の庁舎警備を宿日直業務として実施するとともに、お客さまからの電話対応や水道料金等の収納についても、付随する業務として実施している。 3 見直しの理由 宿日直業務に付随して行っている電話対応については、水道局基町庁舎の守衛室へ転送することにより対応が可能であること、また、水道料金等の収納については、コンビニの普及に伴い、お客さまが最寄りの店舗で24時間支払いが可能な状況にあることから、宿日直業務を廃止し、機械警備に変更することについて検討する必要がある。 4 平成25年度当初予算額 329万1千円 5 見直し効果額 平成26年度 △158万円